

〈校訓〉

友 愛
英 知
創 造

留辺薬高校だより

2020年度
第2号
6月25日発行

生徒総会

6月10日（木）7校時に生徒総会が行われました。2019年度生徒会会務報告、会計決算報告、令和2年度会務事業案、会計予算案が審議され、生徒会執行部の原案通り可決されました。合わせて、各種委員会活動計画、部局員名簿及び活動計画の説明がありました。また、今回の生徒総会で剣道同好会と書道同好会の設立が承認されました。今後の活躍が楽しみです。



剣道同好会の様子



書道同好会の様子

課題研究の活動内容

北見市唯一の総合学科である留辺薬高校では、特色のある活動として3年次に「課題研究」という授業が開講されております。生徒自ら課題を設定し、その課題の解決を図る方法を模索しながら調査や研究を行います。今年度は、3つのゼミが開講されておりますので、活動の内容を紹介します。2月には、学習成果発表会を行います。

数学ゼミ

数学パズルやゲームの研究をしています。数学が苦手だという人も多いでしょうが、数学の面白さを伝えたいと思います。2月の発表をお楽しみに…。



英語ゼミ

JA きたみらい馬鈴薯グループにご協力いただき、スノーマーチ（じゃがいも）のPRを兼ねた英語の絵本作りに取り組んでいます。



福祉ゼミ

地域探検をしながら、留辺薬町の特産品や施設について調査・研究をしています。今後も地域の方々の協力のもと、留辺薬町に関する理解を深め、多くの魅力を発信できるよう取り組んでいきます。



別紙のアンケートにご協力ください！

白花豆に関する講演会

6月18日（木）2校時に株式会社 大江本家 常務取締役総支配人（るべし白花豆くらぶ広報担当）須藤哲史様をお招きし、白花豆に関する講演会が行われました。対象は、食文化（2年次）、課題研究福祉ゼミ（3年次）です。講演会では、るべし白花豆くらぶの活動、白花豆の成長過程や特徴、魅力等について映像を用いての説明がありました。クイズも出題され、楽しみながら白花豆について学ぶ時間となりました。須藤さんからは、「地域について問題意識や興味関心を持つことが大切である。住んでいる地域に目を向けると、実はたくさんの魅力があるということを知ってほしい。」と生徒へメッセージが伝えられました。

須藤様の講演会を通して、地元の特産品である白花豆に興味関心を持ち、郷土を愛する心が育まれること、さらに食文化の伝承など、魅力発信への姿勢が一層真剣であり、本校も学びを深め、多くのことを発信したいと思いました。

なお、本校でも6月11日に白花豆を畑に植えました。白花豆は約2週間で発芽するとのことですので、6月25日頃の発芽を楽しみにしています。

生徒の感想

- 白花豆をつくるには、竹立てやツル巻きなど様々な工程があることや留辺薬町が育成に適している気候・環境であることがわかった。白花豆でできることはたくさんある！！
- 栄養価を聞いて、健康食品を作れそうだと考えた。白花豆の新商品を作ることができたらいいと思った。
- 講義を受けて様々な調理方法があることを知り、おいしそうと思った。



留辺薬高等学校存続に係わる署名活動について

令和5年度入学者募集停止案が北海道教育委員会より発表されたことを受け、6月30日を目処にPTA会長及び同窓会長を中心に募集停止案の再考を求める署名活動を実施しております。詳しくは、留辺薬高校ホームページのPTAのコーナーをご覧ください。